

ムギ類赤かび病情報第1号

令和4年4月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

防除適期（開花始期～開花期）を 逃さないように防除しましょう！

ムギ類赤かび病における感染予防のための防除適期は、開花を始めた時期から開花期（1穂につき数花開花をしているものが、全穂数の40～50%に達した日）までの間です。農業総合試験場作物研究部発表の麦生育診断情報（第3報）によると、3月21日現在、出穂期は平年に比べ「きぬあかり」で平年並から1日遅れ、「ゆめあかり」で平年並から2日遅れと予測されています。ほ場ごとの生育状況に注意し、表1、2を参考にしながら防除適期を逃さないように防除を実施しましょう。

名古屋地方气象台3月31日発表の1か月予報によれば、天気は数日の周期で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。出穂期以降に曇天・小雨が続き、温度が高くなるなど、多発しやすい条件となった場合には、1回目（開花期）の防除から約10～20日後に2回目の防除を実施しましょう。

表1 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布	M7
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	散布	11
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	トップジンMゾル				
	ベフラン液剤25	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布	M7
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	7
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
	トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
	麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25		収穫21日前まで	1回	散布	3
大麦	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	7

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2021.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

表2 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤（無人航空機用）

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	無人航空機による散布	1
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	7
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	無人航空機による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布	7

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2021.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。